



【学校教育目標】

自律に向かう挑み続ける小値賀っ子の育成
～島から日本一楽しい学校を～

【学習指導要領改訂の基本的な考え方】

生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、これまでの学校教育の蓄積を生かし、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが必要。

【長崎県教育委員会】

長崎県の子供たちの課題として、『授業外での学習時間の確保』『授業での主体的な学び』が挙げられる。
(長崎県教育委員会『学びの習慣化メソッド』より)

【研究主題】

自ら考え判断、行動し、学び続ける子供の育成
～子供が夢中になる授業づくりに向けて～

1 児童の実態と研究主題設定の理由

【共通事項】

- 恵まれた自然、地域、学校環境の中で育ち、素直な心で学びに向かっている。
- ▲ 指示待ちの児童が多く、自ら考え判断し、行動する経験が少ない。
- ▲ 自分の考えをもつことができても、その考えを自信をもって他者に伝えることが苦手な児童が多い。
- ▲ 学びに対する主体性が弱い児童もいる。(「このくらいでいいや。」)

小値賀小学校

- 学習課題に対し、興味をもつことができる。
- 少しずつ話し合いに対する意識が芽生えてきている。
- ▲共通点や相違点を意識して、他者の話を聞くことが苦手。
- ▲友達と話し合う姿は見られるが、意見交換で終わってしまう。

大島分校

- 発想力・想像力が豊かで自分の考えをもつことができる。
- 人と話すことが好き。
- 読書が好きで、本に親しんでいる。
- ▲自分の考えに偏ることがある。
- ▲学んだことを次の学習等に生かす力が十分ではない。

2 研究の方向性と内容

(1) 研究授業を通じた指導法の研究

○『夢中』のきっかけづくり(主体的に学ぶ導入)

☆全員が同じ土台に立って学びをスタートする

- ・環境づくり(教室掲示等)
- ・教材(提示方法)や発問の工夫(子供が食い付く課題設定) ・既習事項の確認(前時等の振り返り)
- ・見通し(予想)を立てる(・既習事項や日常の経験を活用する。・学び方の計画を立てる。)

○考えを広げ深める環境づくり(対話・協働)

- ・学びを広げ深める選択肢の充実・可視化
- ・教科, 単元, 学年の実態に応じた対話の工夫

○学びを『続ける, 積み重ねる』

- ・振り返り方の充実(次時や授業外につなげる振り返り, 内容の制定)

○子供が学びを創り上げる

- ・学習進行係(学習リーダー)を中心に進める学びの推進

(2) 基礎学力の定着と学力の向上

○必要な情報を読み取り, 根拠を明らかにして, 自分の考えを他者に説明する力の育成

- ・N I Eの取組

○帯タイムの充実

(例)【国語】漢字ドリルを活用した漢字練習, 条件を付けた自分の考えを文章表現するプリント等

【算数】四則計算タイムアタック, 文章問題チャレンジ(各学年の学習内容に沿って)

解答への説明文作成練習プリント

○家庭学習の定着と充実

- ・学習カードの活用 ・自学計画表の作成 ・自学の推奨

○読書活動や言語環境の充実

- ・朝の読書 ・児童への読み聞かせ(たんぽぽとの連携)

令和6年度 校内研究全体構造図

